帰国子女特別入試

◆アドミッションポリシー

外国において学校教育を受けた経験を有し、各学部の専門分野に興味があり、専門分野を学ぶための基礎学力がある人。

◆出願資格

出願の対象となる帰国子女は、次の(1)、(2)の出願条件を満たす人で、かつ①または②に該当する人。

(1) 日本国籍を有する人、または日本国の永住許可を得ている人。

(2) 外国において学校教育を受けた後、日本に帰国し、2020（令和２）年４月１日までに満 18 歳以上に達する人。

①通常の学校教育課程 12 年のうち、外国の教育課程に基づく高校学校に最終学年を含め２年以上継続して在籍し、2018（平成 30）年４月１日から 2020（令和２）年３月 31 日までの間に、日本または外国の高等学校を卒業（修了）した人、および卒業（修了）見込みの人。ただし、日本の高等学校における在籍期間が２年未満の人。

②文部科学大臣の指定した人（外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルを保有する 18 歳以上の人）。

◆入試日程等

試験区分	募集人員	願書受付期間（必着）	試験日	試験科目	試験時間割	集合時間	試験会場	合格発表日	手続締切日
帰国子女特別入試	各学部若干名	2019 年 11/5（火）～ 11/13（水）	11/24（日）	小論文 面接	小論文 9：30 ～ 10:30 面接 11:00 ～	9：00	本学	12/13（金）	12/25（水）

◆選考方法

評価のポイント	
小論文	現代社会の様々なできごとについて記述された文章をきちんと読み解くとともに、提起されている問題を理解する力、さらに、問われていることについて自分の意見を論理的でかつ説得力を持って展開する力を確認します。また、こうしたことについて誤字・脱字なく、表現できる力があるかを確認します。
面　接	「履歴書および学習計画書」の記述内容に基づいた面接を実施します。志望動機、入学後の学習課題、これまでの活動内容と社会への貢献、大学卒業後の進路希望などの質問を通じて、学習計画の明確さ、社会的経験、卒業後の計画の具体性などを総合的に評価します。

◆合否判定基準

小論文試験および面接試験を総合的に評価し合格者を決定します。